

真冬の空を見上げてみよう

自然の不思議を教えてください

NPO法人

星空ファクトリー

「宇宙」を中心に、自然科学や科学技術の教育関連事業を行っているNPO法人「星空ファクトリー」。

幅広い教育素材でもある星の世界は、歴史や神話、物理学、民俗学など、多種多様にアプローチできるのが魅力だそう。今回は事務局長の長野親情さんに、星空の魅力や楽しみ方についてお話を伺いました。



冬の星座
いくつ見つけられるかな？



冬の天体観測会の様子。望遠鏡を通して見る星の美しさに、思わず歓声が上がります。



東の空に明るく輝く金星。「明けの明星」とも呼ばれ、太陽と月をのぞいてもっとも明るい星です。

星空観察の楽しみ方

観察といっても、どのようなところに魅力を感じるのかは千差万別。さらに一歩進んだ楽しみ方を、長野さんに聞いてみました。

- 写真を撮る**
難しいと思われがちな星空写真ですが、最新式のデジタル一眼レフカメラなら比較的容易です。三脚必須ですが、見晴らしのよい場所で、チャレンジしてみましょう。
- 天体観測用のアプリをダウンロードする**
星座早見盤の替わりになるアプリもたくさんあります。空にかざせば星座を示してくれるものもあるので、自分に合ったアプリを探してみてください。
- 望遠鏡で月を眺める**
最近我々が始めているのが、老眼鏡を使った天体望遠鏡作り。ホームセンターでいろいろな部品を合わせて作る望遠鏡ですが、写真も撮れるのが魅力です。

2018年1月に見られる天文現象

- 1/2 ☾ スーパームーン
- 1/2 ☾~5 ☽ しぶんぎ座流星群
- 1/31 ☾ 皆既月食

県央地域の「星空スポット」としては、天文台所有施設の三条市の「さぎの湯しらすぎ荘」、日本最初の日食観測地「大崎山公園」がオススメ。ただし新潟の冬は天候が悪く足元の状況も危険なため、長時間の外出は控えましょう。

「星が好き」から始まった自然科学の案内人

「星空ファクトリー」は、三条市を拠点に宇宙の成り立ちや天体の魅力、自然科学のおもしろさを広める活動を行うNPO法人。星空観察などの自主事業の他、小学校やPTA、公民館より依頼を受け、県内はもろろん長野県、群馬県、千葉県でもセミナーや合宿を行うなど、幅広い活動を行っています。

「星や星座、宇宙が好き」な集団で、36年前に同好会としてスタートしました。2000年にはさらに積極的に天体観測会などの啓蒙活動をする団体を作り、そしてより多くのうちに、星の奥深さと宇宙の神秘を伝える「星空ファクトリー」を立ち上げました」と事務局長の長野さんは話します。

県央地域では「庭園の郷保内」での「星空観察会」や、「さぎの湯しらすぎ荘」にて親子で楽しめる「星空ウォッチング」を開催。また試行期間とのことですが、3Dプロジェクターでの「立体宇宙シアター」なども計画を進めています。

ただ自然が相手のため、星空観察が予定通りに開催できないことも。特に冬の新潟は天候の悪い日が多く、なかなか思い通りにいかないそうです。「天候が悪いからと言って観察会を中止しては、星や宇宙のおもしろさを伝えられない」と考えた長野さんは、「星、星座、宇宙」を自然科学の側面から見た実験や工作、疑似体験などを代わりに行うことで、子どもたちにもさまざまな不思議を解き明かす魅力を伝えています。

「星空の楽しさ、奥深さを知ってほしい」という思いから、資格をとって「見るから伝える」に

夜空を眺めるだけでなく、写真撮影や動画撮影、天体スケッチなど、思いおもいに楽しめる星空観察。さらに天文学の知識や観察技術を得て、星空や宇宙への理解をより深めたいという人には、「星のソムリエ」というユニークな資格認定制度もあるそうです。

長時間の観察には不向きですが、空気が澄み、明るい星が多く見られる冬の夜空は魅力がいっぱい。冬の星座といえば、3つに並んだ星が特長の「オリオン座」を思い浮かべる人が多いのではないだろうか。この3つに並んだ星を囲むように4つの星があり、このうち左上にある赤い星が「オリオン座」のベテルギウスで、「おいぬ座」のシリウス、「こいぬ座」のプロキオンの3つの二等星とともに「冬の大三角」と呼ばれます。シリウス、プロキオンに「ふたご座」のポルクス、「ぎょしゃ座」のカペラ、「おとし座」の赤っぽい星アルデバラ、「オリオン座」の右下にある青いシリウスを加えると、「冬のダイヤモンド」を形成します。

「オリオン座のベテルギウスとシリウスの間には3つの星が並んでおり、オリオンのベルト」と呼ばれています。この「オリオンのベルト」の下にさらに星が3つ縦に並んでおり、この真

ら、一緒に星や宇宙について楽しむ機会を作る「人材育成プログラム」です。「言うとうと、星空と人々をつなぐコミュニケーションマスター、それが星空案内人。通称「星のソムリエ」として長野さん。

公的な資格ではないので何かが特別に与えられるというわけではありませんが、星空案内に必要な「宇宙論」「神話」「暦」「光学」「操作技術」などの幅広い知識を習得することで人々にやさしく説明することができたり、地域ボランティアとしての活躍も期待されているとか。村上市、新潟市、三条市、長岡市、上越市の各地でそれぞれ月に1回ペースで行われてきた「星のソムリエ教室」では、全国最低年齢の小学5年生から70歳の人までが幅広く受講し、2017年度はすでに24名が認定を受けています。

このように眺めて楽しむだけでなく、学ぶ楽しさも教えてくれる「星空観察」。星々の名前を知り、星座にまつわる神話や文化を知れば、興味が倍増することは間違いありません。ただ夜空を眺めるだけでも癒やされるものですが、より一歩知識を深めて、宇宙のさらなる広がりを感じてみませんか？

取材協力
NPO法人「星空ファクトリー」
三条市直江町3-8-28
☎0256-31-4840



NPO法人「星空ファクトリー」
事務局 長野親情さん
2006年秋に同法人として活動を開始。星だけではなく、今後はさらにプログラムを充実させるそうです。



「星空ファクトリー」の理事会メンバー。さまざまな分野でのプロフェッショナルが在籍しています。

アプリ「フリモAR」で
長野さんが星座早見盤の
使い方を解説!

このマークを見つけたら
スマホでチェックしよう!

フリモAR

動画閲覧期間は1か月です。
1月号は12/22(金)~
1/24(水)まで。

▲オリジナルの星座早見盤。日付と時刻を合わせれば、そのときに見える星空と星座がわかります。